

## 屋久島町ゼロカーボンアイランド宣言

地球と人類の至宝である屋久島は、屋久杉を象徴とする森厳な大自然に抱かれ、豊かな森、清らかな水、大海の恵みになりわいをゆだねて人々が生きた島です。

近年、世界規模で地球温暖化が原因とみられる異常気象による災害が多発し、人々の生命や財産が脅かされ、本町の生態系にも甚大な影響を及ぼすことが懸念されています。

この気象危機とも言うべき極めて深刻な状況を解決するため、我が国では令和2年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを宣言しました。

本町は、民需電力の99%以上を豊富な水資源を活かした水力発電により賄っており、「脱炭素に一番近い島」として、高いポテンシャルを有しています。

この豊かな自然環境や文化を後世へ引き継いでいくために、「屋久島憲章」や「屋久島環境文化村構想」などの理念を基に、町民、事業者、行政が協働して脱炭素化へ積極的に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンアイランド」の実現を目指すことを宣言します。

令和5年12月11日

屋久島町長 荒木耕治